

都民講座

自閉症の理解と回復を目指して

日時 2019年 9/27(金) 18:30~20:00
(開場 17:30)

場所 烏山区民会館ホール (京王線 千歳烏山駅)

■「知的障害を伴う自閉症のしくみを探る」

東京都医学総合研究所 シナプス可塑性プロジェクト プロジェクトリーダー 山形 要人

自閉症は他者とうまくコミュニケーションができない、興味や活動がかたよるといった特徴があり、こどもの自閉症では知的な遅れをとまなうケースも多いです。私たちはこのしくみを明らかにするため、自閉症と知的障害を起こすヒトの病気と同じ遺伝子に異常のある動物を作りました。この動物を調べることで、脳内メカニズムの一端を明らかにし、それにもとづく治療薬の開発を目指しています。本講演では、この動物のシナプス(神経細胞同士の接合部)の異常や、それを改善する化合物がマウスの行動異常も回復させることなどをお示しし、治療薬開発の現状をお話します。

■「アスペルガー症候群とは何か～脳内メカニズムの解明からリハビリテーションまで～」

昭和大学発達障害医療研究所 所長 加藤 進昌

自閉症の病態解明は世界的にも大きなテーマです。しかし自閉症の本質は何かについて臨床的に確立されたものはありません。最新の国際診断基準でも、知的に低い古典的自閉症(カナー型)から定型発達者に見られる「変わった人」まで包含する自閉症スペクトラムと言う曖昧な概念でくられてしまい、さらに混迷しています。研究的にも動物研究はカナー型を想定する一方で、脳画像研究は知的に高いアスペルガー症候群が主役になることが多く、双方のモデルに乖離が見られます。私たちは、その中でアスペルガー症候群を対象とした研究を中心に行っていますので、その概要をご紹介します。自閉症スペクトラムの本質に少しでも迫ってみたいと思います。

■ 定員・申込方法

先着 350 名様 / 手話通訳あり

事前申込制 往復ハガキまたは電子メールにて(1通につき2名様まで)

往復ハガキは、〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 事務局 研究推進課 普及広報係宛
住所、氏名(フリガナ)、参加希望人数、2名希望の場合は同伴者氏名(フリガナ)、電話番号を記入し、「第4回都民講座希望」とご記入ください。電子メールは、tomin@igakuken.or.jpへ、件名に「第4回都民講座希望」、本文に氏名(フリガナ)、2名希望の場合は同伴者氏名(フリガナ)、電話番号を入力してください。

※無効となる場合がございますので、記入漏れのないようご注意ください。

※スマートフォン、携帯電話からのメールによるお申込みの場合は、受信拒否設定の解除をお願いいたします。

※応募メールを送信してから、3営業日以内に弊所からの受付メールが届かない場合は、恐れ入りますが、迷惑メールフォルダをご確認ください。

迷惑メールフォルダにも不着のようでしたら、メールアドレス、本文、件名等を再確認頂き、メールの再送信をお願いいたします。

申込締切 9月24日(火)必着